

永井友理 (23)

●リオ五輪で咲き誇れ！大和撫子たちの勝負服

プライベート



ながいゆり '92年5月26日生まれ 岐阜県出身 FW 東海学院短大卒業。現在はスペインのリアル・ソシエダ所属。両親がホッケーの元日本代表で、妹・莫月選手も日本代表。弟・祐真選手も立命館大でプレーとホッケー一家。セールスポイントはドリブル、リバースヒット

「ホッケーの楽しさは攻守の切り替えが早く、スピード感があること」。代表のなかで唯一、海外チームに籍を置く永井友理は、競技の面白さをこう表現する。しかし、激しい当たりで怪我が絶えない。「痣や擦り傷は日常茶飯事。骨折してもテーピングをして試合に出てました。痛かったけど(苦笑)」現在、日本は世界ランク10位。

「たまに、アイスホッケーやラクロスと間違えられるので、リオではメダルを獲って知名度を上げた。個人的な目標は、F/Wなので得点を決めることです。愛読書の内容？」「誰にでもチャンスはくるけど、それを掴むには事前の準備が必要」ということ。そこにすこく共感できて、小学6年ごろから1〜2年周期で読んでいます(笑)」

私の花言葉

自分らしく！

Q. 競技を始めたきっかけは？

A. ともに日本代表のホッケー選手だった両親の影響で、小学5年のときに

Q. 尊敬するアスリートは？

A. 本田圭佑選手と香川真司選手

Q. リオ五輪に持っていくものは？

A. ウォークマン。ジャスティン・ビーバーとかニーヨとかをよく聴いています

Q. マイブームは？

A. ドライブ。愛車は新型プリウス。自分で運転するのが大好きです

Q. 愛読書は？

A. 「Good Luck」(アレックス・ロビラ、フェルナンド・トリアス・デ・ベス著)

「脚を太く見せたくないんで、ふだんはちょっと緩めのスポンを穿くようにしています。好きなブランドはラルフローレン。ドライブと買い物、そして滞りに温泉に寄ってストレス発散です(笑)」